

八宮（はちのみや）神社と六宮神社 楠町3丁目



八宮神社と六宮神社はいずれも生田裔神（えいしん）八社のうちの一つ。八宮は祭神が熊野樟日命（くまのくすひのみこと）で、旧坂本村と旧宇治野村の氏神。また、六宮は祭神が天津彦根命（あまつひこねのみこと）で、旧坂本村の氏神である。六宮神社は明治中期まで、現在の広巖寺（こうごんじ）の前にあったが、1909（明治42）年楠高等小学校新築のため、八宮神社に合祀された。八宮神社はもともと、橘通1丁目の旧神戸市庁舎のあった場所に祀られていたが、1909（明治42）年神戸市庁舎を建設することから移転を余儀なくされ、先に合祀した六宮神社とともに現在地に移されたのである。この時造られた社殿は1945（昭和20）年3月17日の空襲で焼失し、現在の社殿は1952（昭和27）年に八宮復興会によって再建されたものである。

場所：神戸市中央区楠町3丁目4-13